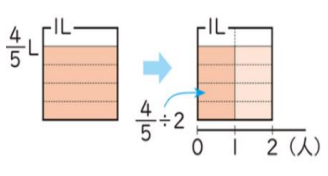

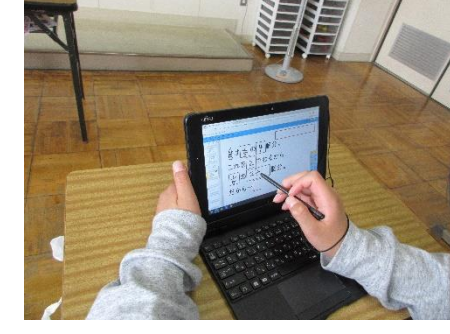
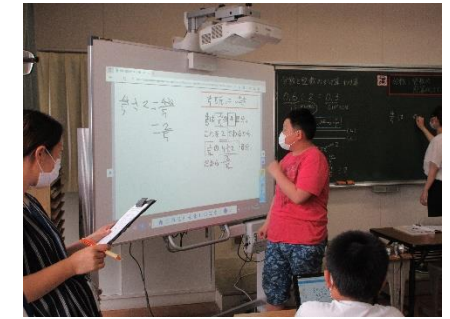
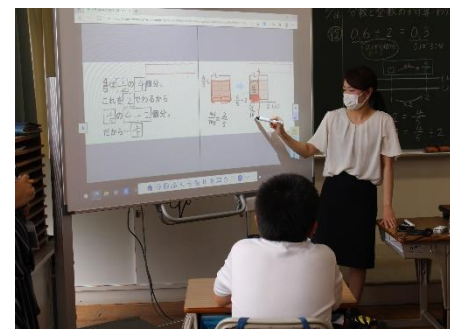
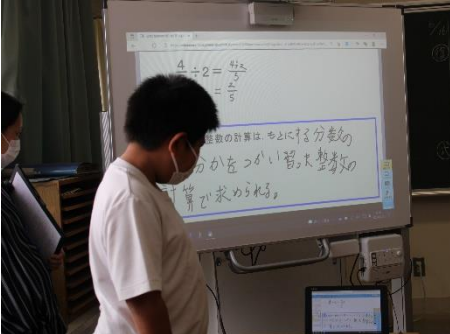


☆・・・参考にしましょう！

※・・・みなさんで実践していきましょう！

	学習内容	○発問・対話を生み出す手立て	●子どもの反応・ICTの活用
つ か む	<p>1. 小数÷整数の計算の仕方を振り返る</p> <p>0.1をもとにして整数の計算にしたことを確認する。</p> <p>2. 学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>Lのジュースを、2人で等分します。 1人分は何Lになりますか。</p> </div> <p>数直線図を使って立式する $\frac{4}{5} \div 2$</p> <p>・分数×整数のときと同じように、もとにする大きさのいくつ分で考えれば、求めることができそうだ。</p> <p>3. 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>分数÷整数の計算の仕方を考えよう。</p> </div> <p>4. 課題追究する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①図で考える</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②もとにする分数のいくつ分で考える</p> <p>$\frac{4}{5}$は$\frac{1}{5}$の4個分。 $\frac{4}{5} \div 2$は、$\frac{1}{5}$の(4÷2)個分。 $\frac{1}{5}$が2個で$\frac{2}{5}$</p> </div> </div>	<p>○復習です。0.6÷2=? どうやって計算した? 0.1が6個分なので、6÷2して3。 3は0.1が3個分。</p> <p>○分かっていること、聞いていることに線を引こう。</p> <p>○数直線を使って式を求めよう。 矢印は1スタート。式はどこから分かる?</p> <p>$\square \times 2 = \frac{4}{5}$ \squareを求めるには? $\square = \frac{4}{5} \div 2$</p> <p>○昨日までとちがうところは? ○課題はどうしよう?</p> <p>○かけ算の時のことを思い出してやってみよう。</p> <p>○文章でも図でもいいよ。 ○(なおき・たかやは発表後)どんな考え? (言葉の考えを板書し、考え方を赤色で示す)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆本時のキーワードとなる考え方を赤色で板書に残す。</p> </div> <p>○図を使った人は? ○言葉と図をつなげてみよう。 (言葉と図の考えを画面比較して説明)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆言葉と図の考えを画面比較することで、それぞれの考えが繋がっていることが視覚的に分かる。時次につなげるためにも、図を使った考えを提示する必要がある。</p> </div> <p>○なぜ、もとにする分数のいくつ分にするといいの? ※「習っているから」「整数になるから」 「分数×整数のときもできた」というような児童のつぶやきをまとめて話したり、自分の言葉で話したりする切り返しをしたい。</p> <p>○今日のキーワードは? キーワード使って、まとめを書きましょう。 ○発表してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※キーワードのみをつなげてまとめを書く児童がいたため、「今まで習った整数の計算」をさらに「整数÷整数」と具体化して板書する。</p> </div> <p>○$\frac{6}{7} \div 3$の商が$\frac{6 \div 3}{7}$で求められることを説明しよう。</p> <p>○ペアで交流しよう。</p> <p>○説明しましょう。</p>	<p>●問題文の分かっていること、聞いていることに線を引く。</p> <p>●数直線を使って、立式する。</p>  <p>●言葉や図を使って、考えを書き込む。 (資料置き場にヒントカードを入れる)</p>  <p>●自分の考えを投影して発表する。</p>  <p>○言葉と図の考えを画面比較で提示する。 教師が電子黒板に書き込みながら、言葉と図の考えをつないでいく。</p>  <p>●まとめをタブレットに書き込み、交流する。</p> 
考 え る			
深 め る	<p>5. 全体交流</p> <p>・図で考えたり、もとにする分数のいくつ分で考えたりすれば計算することができる。</p> <p>・式と図を結び付けて説明する。</p> <p>$\frac{4}{5} \div 2$は、$\frac{1}{5}$の(4÷2)個だから、$\frac{4}{5} \div 2$で求めることができる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(深めの働きかけ) 「なぜ、もとにする分数のいくつ分で考えるとよいのだろう?」</p> <p>・整数÷整数の計算は習っているから、簡単に計算することができるから。小数÷整数、分数×整数でも同じ考え方で整数にして計算することができた。</p> </div>		
ま と め る	<p>6. まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分数÷整数の計算は、小数÷整数や分数×整数と同じように、もとにする分数のいくつ分かを考えて求めることができる。</p> </div> <p>7. 練習問題に取り組む。</p> <p>教科書 p 30 ㊦ 1 ペアで説明し合う 教科書 p 30 ㊦ 2</p>		